



## 三重県初の公私連携型保育所 「桑名たいりん保育園」誕生

※公私連携型保育所とは、自治体が保育園の運営などを支援し、民間事業者が柔軟性や専門性を生かした運営を行う制度です。

### 地域みんなで子どもたちの笑顔を育む 新たなコミュニティの場

4月1日、三重県初となる公私連携型保育所「桑名たいりん保育園」が開園しました。市立厚生館保育所の再整備と桑名駅周辺エリアの保育環境の充実をめざし、桑名市と社会福祉法人明健福祉会との共同により誕生した新しいスタイルの保育園です。

桑名たいりん保育園の特徴は、老朽化した公立の保育施設を民間が建て替えを行い、公私連携型保育所として、長年培われてきた公立の安定した保育の質と、私立の柔軟な運営スタイルを併せ持ち、地域や時代のニーズに即した保育を提供することです。



桑名駅徒歩すぐの立地でとても便利。屋上には広々とした園庭があります。



子ども・子育て応援センター「たいりんキラキラ」



桑名たいりん保育園  
みきこ  
園長 高木 美紀子さん

また、園舎内には就園前の親子の居場所となる子ども・子育て応援センター「たいりんキラキラ」があります。さらに、ボランティア団体の情報交換の場「ホットスペース（もれび）」も設けられ、保育園の枠を超えた子育て応援の場となっています。今後について「あらゆる子育てで世代に利用していただき、地域みんなで子どもを育む優しい園づくりをめざします」と語る高木美紀子園長。公私連携という新しい挑戦を始めた同園は、新たなコミュニティの拠点として、子どもたちの健やかな笑顔を育んでいきます。

### 桑名たいりん保育園

駅元町10  
☎22-2009



### 子どもたちの主体性と対話を大切に 「共に育ち合う保育」がモットー

「桑名たいりん保育園」では、子どもたちが自ら夢中になって遊べる環境を整えています。自然や地域の人々と触れ合う園外保育を積極的にを行い、五感を感じたことを共有し合うことで、主体性や対話を育みます。同園が大切にしているのは、子どもが自ら育とうとする姿勢です。そこに大人も深く関わり合い、一人一人を尊重しながら「共に育ち合う保育」をめざしています。また、登園時の持ち物を一括管理する「手ぶら登園」を導入し保護者の負担を軽減。親子が笑顔で過ごす時間を創出し、ゆとりある子育てを支えています。



### 気軽に立ち寄れる ホッとできる場所

### 子育て家庭を応援する 「たいりんキラキラ」を併設

子ども・子育て応援センター「キラキラ」の取り組みを引き継いだ「たいりんキラキラ」。就園前の親子が自由に遊び、地域と交流しながら安心して過ごせる場を提供しています。館内には保育士が常駐し、子どもの発達や離乳食などの悩みに対応。生後1〜4カ月対象の「赤ちゃんひろば」や専門職の講師を招いた講座も開催しています。保護者の気持ちに寄り添う、第二の家のように気軽に立ち寄れるスペースです。



### ひきこもり地域支援センター・児童発達支援施設が新設

子ども・子育て応援センター「キラキラ」の跡地に、ひきこもり地域支援センター・児童発達支援施設が、10月に開設予定です。「桑名たいりん保育園」を中核とした保育環境・市民生活向上を図る多機能社会福祉施設群となる予定です。